査 読 報 告 書

日本都市計画学会

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 論文番号 |  | 分類 | 論文・論説・報告 | 論文区分 | 都市計画論文 |
| 論文題目 |  | | | | |
| 査読者 |  | | | 査読期限 |  |
| 所属 |  | | | | |

※論文番号は、(審査希望分野1～12)に従って登録されています。

**（１）判 定**

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 1. 項目別チェック | | | |  | 2. 判定結果（いずれかに○を） | | |
| **Ａ**～**Ｃ**の該当する欄に○をつける  （**Ａ**:優れている／ **Ｂ**:妥当である／ **Ｃ**:欠陥がある） | **Ａ** | **Ｂ** | **Ｃ** |  |  | **○ 採用**(微細な修正を含む)  →(2)に具体的理由（必ず明記）  →もしあれば(4)に修正意見 | |
| ① 研究の位置づけ |  |  |  |  |
| ② 問題意識・課題設定 |  |  |  |  |  | **Ｒ 要修正**  (修正が十分なされれば採用)  →(4)に修正要求等 | |
| ③ 使用した概念・方法 |  |  |  |  |
| ④ 論旨・論拠、方法と結果の信頼性・論証 |  |  |  |  |  | **Ｂ Ｒと×の境界**  →(3)に具体的理由  →および(4)に修正要求等 | |
| ⑤ 論文構成上のバランス |  |  |  |  |
| ⑥ 論文としての完結性・独立性 |  |  |  |  | **× 不採用**  →(3)に具体的理由（必ず明記） | |
| ⑦ 論文題目の適切性 |  |  |  |  |
| ⑧ 表現・用語・引用等 |  |  |  |  |  |  | |
| ⑨ 図・表等の表現 |  |  |  |  |  |  | |
| ⑩ 結論等の有用性 |  |  |  |  |  | | |
| ⑪ [論文]論拠とするデータ等の信頼性・結論の新規性・独創性  [論説]結論や提案の独創性・適時性・先駆性  [事例・調査報告]知見の新規性、緊急性、普遍的価値、適時性、先駆性 |  |  |  |  | 3. 判定の信頼性 | | |
|  | 判定の信頼性が低い場合は  ○印をつける→ | |  |
|  |
| 簡単な理由： | | |
| ⑫ その他（論文としての適格性 具体的に: 　　　　　 ） |  |  |  |  |  | | |
| ⑬ 既発表（可能ならチェックする。既発表の場合は「**Ｃ**:欠陥がある」に○） | | |  |  |
| 4. 全体評価：上記、項目別チェックを参照しながら、論文全体に対する評価をご記入ください。 | | | | | | | | |
|  | | | | | | | | |

⇒次ページ以降の(2)(3)(4)に具体的理由・修正要求等をご記入ください。

※本査読報告書が直接、論文投稿者に渡されることはありませんが、修正意見以外にご記入いただいた内容についても、とりまとめ委員の判断により、投稿論文修正意見書の【III その他、修正要求・修正希望を補足する意見】の欄などに記載することにより、論文投稿者に通知される場合があります。**（２）○判定の具体的理由（必ず明記）**

判定の根拠となった当該論文の優れた点を、具体的にご記入ください（判定が分かれた場合の重要な論拠となります）。

→具体的な修正意見がある場合は、次ページ（4）にご記入ください。

|  |
| --- |
|  |

**（３）×判定またはＢ判定の具体的理由（必ず明記）**

判定の根拠となった当該論文の問題点を、具体的にご指摘下さい（審査における重要な論拠となります）。

その際に以下の点にご留意ください。

・前ページ「1.項目別チェック」中、Ｃをつけられた項目をできるだけ意識して記述してください。

・当該論文の箇所を指摘し、何がどのように問題なのかを具体的に記述してください。

・特に、既発表・新規性の欠如を指摘した場合は、周知の先例を挙げてください。

【Ｂ判定の場合】⇒修正要求等を次ページ（4）にご記入ください。

|  |
| --- |
|  |

**（４）Ｒ判定・Ｂ判定・○判定の場合の修正意見**

「Ⅰ 修正要求」と「Ⅱ 修正希望」に区分し、Ⅰ-１、Ⅰ-２…、Ⅱ-１、Ⅱ-２…と項目番号をつけ、修正すべき箇所（頁、行番号・図表番号）と内容をご記述してください。○判定の場合、「Ⅰ 修正要求」は挙げられません。

1）「Ⅰ 修正要求」は、修正しなければ不採用となる重大な事項、客観的に見て真に必要な事項を指摘してください。

2）「Ⅰ 修正要求」は、何故修正が必要かという具体的理由と、いかなる方向で修正すべきかを的確に示してください。ただし、修正の方向を過度に限定し、論文の添削、修正の仕様書とならないようにご留意ください。

3）執筆要領違反は修正要求で、誤字・脱字等のケアレスミスは修正希望で指摘してください。多数ある場合、例示とともに一般的指摘を行うだけでも結構です。

4）いただいたご意見をとりまとめる都合上、誠に勝手ながら、可能な限り最上段の記載例と同様の形式で修正箇所をお示しください。修正意見の内容については「である調」でのご記入にご協力ください。

|  |  |
| --- | --- |
| 論文番号 |  |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 項目番号 | 頁・段 | 行　等 | 内 容 |
| 記載例）  Ⅰ-１ | 2・右 | 4 | ※「である調」でのご記載にご協力ください。  ・・・という結果が示されているが、・・・・ |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  | 以上 |